

# 北海道PCB廃棄物処理事業 監視円卓会議だより

平成23年8月  
第23号

北海道及び室蘭市では、日本環境安全事業(株)(JESCO)が室蘭市仲町で操業を行っている北海道PCB廃棄物処理事業が安全、確実かつ適正に行われるよう、処理施設の整備や操業、情報公開等に関する事項を監視する『北海道PCB廃棄物処理事業監視円卓会議』を設置しています。

今回は、7月19日に開催された第23回監視円卓会議の内容を中心に、施設の稼働状況、事業の経過や当初施設及び増設施設の安全性の検討結果などについて、お知らせします。

## ● 北海道PCB廃棄物処理事業監視円卓会議(第23回)について

平成23年7月19日(火)午後2時より、PCB処理情報センター(室蘭市御崎町1-9)において、第23回監視円卓会議を開催しました。

会議には、学識経験者3名、団体委員6名、公募委員4名の計13名の委員のほか、オブザーバーとして、環境省、登別市、伊達市、JESCOなど関係者が出席し、事業の進捗状況、施設の安全性の検討結果などの報告、説明を行い、それらに関する意見交換が行われました。

### 【会議の概要】

議事に先立ち、委員の互選により眞柄委員が委員長に選出され、副委員長に吉田英樹委員が指名されました。

### 〈 議 事 〉

#### 1 第22回監視円卓会議議事録について

平成23年3月28日に開催された第22回監視円卓会議の議事録が承認されました。

#### 2 北海道事業の進捗状況等について

JESCOから、施設稼働状況、トラブル事象及びその対策等の説明があり、また受入基準の変更予定についての説明がありました。

#### 3 環境モニタリング測定結果などについて

事務局から、環境モニタリング測定結果の報告があり、あわせて北海道及び室蘭市による立入検査の実施状況の報告がありました。

#### 4 増設事業等について

JESCOから、増設事業におけるオンラインモニタリング、処理の結果生成されるスラグ・固形物の搬出ルート及びそのサンプリング方法、施設からのPCBの漏えい対策などの説明がありました。また、東日本大震災に関連して、当初施設及び増設施設の安全性の検討結果の説明がありました。

## ● 主な報告事項の内容

### ■ 処理の進捗状況について

平成23年6月末までの処理台数等は、次のとおりです。

トランス類		コンデンサ類	
登録数	処理台数(%)	登録数	処理台数(%)
4,181	1,356(32.4%)	54,133	15,472(28.6%)

注) 登録数：平成23年3月31日現在。処理台数：試運転物を含む抜油ベース

## ■ トラブル事象について

前回の会議以降、今回の会議までに次の3件のトラブル事象が発生しました。いずれも、環境への特段の影響はありませんでしたが、環境保全上の留意が必要な事象などが該当する区分Ⅳでした。

また、3月1日から6月末日までの不具合事象（部品交換を伴う事象及び復旧作業に伴い数日程度設備が停止した事象）は22件、不具合事象未済（一過性の事象及び設備の停止が1日程度若しくは無かった事象）は25件でした。

発生日	概要等
H23. 3.11	<p>車載トランスコンサベータからの洗浄液の漏洩</p> <p>【概要・原因】車載トランスの予備洗浄を行う際、給液設定値が誤って2倍になったことに加え、トランス内における液の流れが悪く、内圧が上昇し、開口部を塞いでいた蓋が取れ、洗浄液がオイルパン上に7m×8mの範囲で約16L漏えいした。漏洩液のPCB濃度はオイルパン上で10.1mg/kg。</p> <p>【対策】給液設定値が自動的に2倍にならないようにソフトウェアを変更し、また内圧の過度な上昇を防止するため給液速度を10L/分と低く設定した。</p>
H23. 3.21	<p>真空超音波洗浄エリアにおける洗浄液の漏洩</p> <p>【概要・原因】計器用変成器底部の洗浄液を抜くための孔がキムタオルで塞がれている状態で洗浄かごを吊り上げたため、洗浄液が抜けず、計器用変成器横の孔から噴出し、飛散防止板を超えて床下に約3m×1mの範囲で洗浄液約1Lが漏洩した。漏洩液のPCB濃度は0.661mg/kg。</p> <p>【対策】計器用変成器等の特殊品缶体の洗浄にあたっては底面部に複数の穴をあけるとともに、洗浄かごには開口部を下にして入れることとし、また解体前洗浄後の液だれ防止として穴を塞いでいる物(キムタオル)の取り忘れ防止として、ビニール袋で底部を覆うよう作業要領を変更した。</p>
H23. 5.15	<p>大型トランス予備洗浄中の洗浄液の漏洩</p> <p>【概要・原因】トランスの油面計のガラスを抑えているパッキンの劣化によりすき間が生じており、このすき間は蒸発した絶縁油の固化物により塞がれていたが、予備洗浄の進行により固化物が溶解、除去され、ここから洗浄液が漏洩したものと推定しており、約8Lが抜油・予備洗浄装置ターンテーブル上の50cm×50cmの範囲で漏洩。漏洩液のPCB濃度は10,192mg/kg(1.02%)。</p> <p>【対策】受入検査時に板状油面計部をビニールシートで覆い、上からアルミテープを貼ることで漏洩防止を図る。</p>

## ■ 増設事業について

### (1)進捗状況について

前回の監視円卓会議以降の進捗状況について次のとおり報告がありました。

- ・基本設計図書完成 ～ 平成23年4月末
- ・施工契約の締結 ～ 平成23年6月7日
- ・許認可申請 建築基準法に基づく建築確認申請 ～ 平成23年7月1日申請書提出  
 廃棄物処理法に基づく設置許可申請 ～ 事前協議中（会議当日現在）  
 （その後、廃棄物処理法に基づく申請は、7月25日に提出されました）
- ・現地工事 現場作業員用仮設用地の準備作業を実施中。各許認可後、現地工事開始
- ・操業開始 平成25年6月（予定）

### (2)処理済物（スラグ・固形物）について

- ・プラズマ溶融分解炉で処理されたPCB汚染物等は、スラグとなって炉から定期的に排出され、排出された段階で試料採取、分析が行われます。分析の結果、PCB濃度が基準を満たす物は搬出され、基準を満たさない物は再びプラズマ溶融分解炉で処理されます。
- ・また、PCB汚染物等が溶融される際に発生したガスは、熱分解された後、排気処理工程で固形物が除去されます。除去された固形物は、バグフィルタから連続的に排出され、この排出された固形物についても、PCB濃度が基準を満たす物は、更に重金属の不溶化処理を行った後搬出されます。基準を満たさない物はプラズマ溶融分解炉で処理されます。

### (3)大規模災害安全性の検討結果について

増設施設については、起こりえる不具合等のシナリオにより安全解析を行い、追加の安全対策の検討が行われていますが、当初施設及び増設施設について、東日本大震災のような災害が発生した場合の安全性の検討がJESCOにおいて行われ、その結果の報告がありました。そのまとめは次のとおりです。

- ・ 特別事態における影響を検討した結果、大地震や津波による配管の損傷及びシャッター等建物損傷の広がりにより海水が浸入してきた場合には、PCBの量は少ないものの海水に混じり、外部への流出の可能性があることが確認された。
- ・ これらの流出により、環境中へ特段の影響ができるものとは思われないが、タンク類への遮断弁設置（特に屋外タンク）は異常時「閉」となり有効な対策なことから追加設置を検討する。
- ・ 施設内の漏れについては漏洩量が減じられるよう、日常から4S（整理、整頓、清掃、清潔）の徹底、施設の点検、作業員の訓練、手順書の見直し、ヒヤリハット活動を通じて、施設内漏洩事象の未然防止に努め、施設内にPCBを含む液が放置されないよう徹底する。
- ・ 国及び自治体の防災基準が見直された場合は、それらに基づいて改めて検討を行うこととする。

## ● 委員からの主な質問と意見

### 【トラブル事象関係】

#### （質問）委員

トラブル事象の主な発生原因として、技術的な問題よりも作業員の熟練度や管理体制といった人的な問題によるものと思うが。

#### （回答）JESCO

これまででも、トラブル事象が起こる度に作業要領書の作成、見直しを行い、作業員への教育などを徹底してきている。次回、作業員の管理体制等の状況等とあわせて説明したい。

### 【モニタリング関係】

#### （意見）副委員長

JESCOの自主測定のPCBとダイオキシン類の測定結果の相関関係が作業工程、処理量などに関係があるのかというのは難しいと思うが、今後の活用のためデータ蓄積をお願いしたい。

### 【増設事業関係】

#### （質問）委員長

排出されるスラグについて、環境省で定める「産業廃棄物に含まれる金属等の検定方法」による試験の後、外部へ排出されるとのことだが、搬出先の環境に対する影響はないのか。

#### （回答）環境省

JESCOから利用先などを聞いたうえで、その試験方法が妥当かどうかの検討を行いたい。

#### （質問）委員

大規模災害発生時の安全性の検討について、電源確保対策について教えてほしい。

#### （回答）JESCO

一般的には非常用発電機をもっているので、電源の供給は可能と考えている。

#### （質問）委員

防災対策について、室蘭市の地域防災計画の見直しを早めにきちんと行っていただきたいと思っているが、市としての考えはいかがか。

#### （回答）室蘭市

現在の計画は平成20年10月に改定したのですが、東日本大震災の関係で、道で防災計画の改定、見直しを行っていますので、その計画を踏まえて市としてどう対応するかということを作業として考えている。

### 【その他】

#### （意見）委員

風評被害が出た場合は国で補償するとのことでしたが、言葉ではなく文書にするということにならないのか。

また、津波について、3mを超えてきたら、この辺りは、ほとんど浸水すると思う。説明の中で納得できない部分もあるので、どのように考えているのかなと思っている。

#### （意見）委員

最近、北大調査で噴火湾沿岸の地層から5mを超えた津波が確認されていることもあり、安全性の検討をもう一度やってもらいたい。

### (意見) 委員

トラブル事象について、ケアレスミス的なことがずいぶん多いように思う。小さな注意さえしていればおさまりそうな事故があまりにも多いように思うので、しっかりしていただきたい。

### (意見) 委員

本当に大きな事故にはならないものが、毎日のように起きていると思う。それを一つ一つ処理していった安全対策を進めていると思うが、大きな災害を目にすると、ああいうことにはならぬように希望したい。

## ● その他

### ■ 北海道PCB廃棄物処理事業監視円卓会議委員の改選（平成23年4月）

3月31日をもって、第3期の監視円卓会議委員の任期が終了したことから、委員を改選しました。新しい委員は次のとおりで、任期は平成25年3月31日となっています。

北海道PCB廃棄物処理事業監視円卓会議委員（敬称略）

#### ●学識経験者（3名）

- 齋藤 健（北海道大学大学院保健科学研究院 教授）
- ◎眞柄 泰基（トキワ松学園 理事長）
- 吉田 英樹（室蘭工業大学大学院くらし環境系領域 准教授）

#### ●関係団体（7名）

- 亀田 義弘（室蘭市連合町会協議会 常任理事）
- 河野 秋昭（PCB処理の安全性を考える会 共同代表）
- 時田 昭子（室蘭市女性団体連絡協議会 会長）
- 中村 明海（室蘭商工会議所 副会頭）
- 西畑 常夫（環境ネットむろらん 代表）
- 藤当 満（特定非営利活動法人室蘭地域再生工場 理事長）
- 室村 吉信（室蘭漁業協同組合 代表理事組合長）

#### ●公募委員（5名）

- 上出 英彦
- 橋本 忠雄
- 村上 孝志
- 山内 ふみ
- 吉田 隆男

◎委員長

○副委員長

### ■ 北海道PCB廃棄物処理事業監視円卓会議による立入

7月27日に監視円卓会議委員による施設への立入が実施され、青木JESCO北海道事業所長から施設概要の説明を受け、JESCO職員から新規入場者安全教育を受講した後、実際に処理施設内に入り、作業スペースから稼働状況等を確認した後、意見交換などが行われました。

なお、当日の意見交換の概要、感想などについては、次号でお知らせする予定です。



（施設立入の様子）

#### ◆PCB廃棄物処理事業に関するお問い合わせ

日本環境安全事業株式会社 北海道事業所 〒050-0087 室蘭市仲町 14 番地 7  
TEL：0143-22-3111 FAX：0143-22-3001  
ホームページ：http://www.jesconet.co.jp/



#### ◆PCB廃棄物処理事業監視円卓会議に関するお問い合わせ

北海道環境生活部環境局循環型社会推進課 〒060-8588 札幌市中央区北 3 条西 6 丁目  
TEL：011-231-4111(内 24-323) FAX：011-232-4970  
E-mail：kansei.kanhai1@pref.hokkaido.lg.jp  
ホームページ：http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/jss/index.htm



室蘭市生活環境部環境課 〒051-0001 室蘭市御崎町 1 丁目 75 番 7 号  
TEL：0143-22-1481 FAX：0143-22-7148  
E-mail：kankyuu@city.muroran.lg.jp  
ホームページ：http://www.city.muroran.lg.jp/main/org3300.html



※「円卓会議だより」や円卓会議の会議資料は、北海道及び室蘭市のホームページでご覧いただけます。また、この「円卓会議だより」は、室蘭市の各サービスセンターでも配布しております。